

導入機材について

Neo (ネオ)

メーカー：Avidbots社(カナダ)
(日本総代理店：(株)マクニカ)

主な仕様：

- 清掃対象：ハードフロア（塩ビタイル等）
- 清掃面積：3,208㎡/h（理論値）
- 駆動時間：約4時間
- サイズ・重量：
奥行1,458mm×幅699mm×高さ1,321mm
重量471kg(バッテリー含)



主な特長

- 高い洗淨能力と自律走行性能（障害物回避・最適ルートの自動設計）
- 充実した管理機能（清掃後のレポートで清掃済エリアの確認が可能）
- 高い操作性（分かり易いUI、マップ作成専任チームと連携した正確なマッピング）
- 成田空港オリジナルの外装デザイン※2

飛び立つ飛行機を描いたフロント部、観光名所やパスポートのスタンプをあしらったサイドデザインにより、旅がもたらすワクワク感と成田空港がつなぐ世界と日本の豊富な航空ネットワークを表現しました。（11月12日現在：海外118都市、国内22都市）

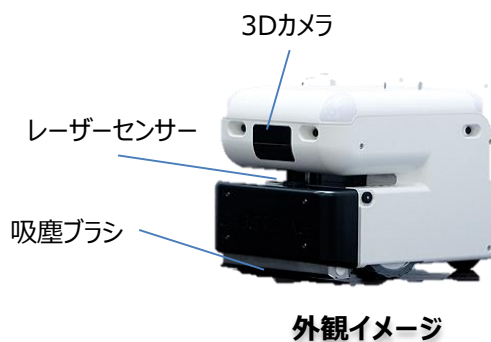
※2 株式会社成田空港美整社が導入するNeoについては別途デザインを検討中。

MB-CL02

メーカー：サイバーダイン社（日本）

主な仕様：

- 清掃対象：カーペット
- 清掃面積：1,500㎡/h
- 駆動時間：約2時間
- サイズ・重量：
奥行620mm×幅480mm×高さ470mm
重量63kg(バッテリー含)



主な特長

- 搭乗式バキュームカーと同等の高い吸塵能力（サイバーダイン社調べ）
- 高い機動性と自律走行機能（小回り・高速運転・自動清掃経路生成）
- 充実した管理機能（ゴミ分布マップのフィードバック、障害物通知）
- 高い操作性（2次元バーコードの読取による清掃エリアの認証）

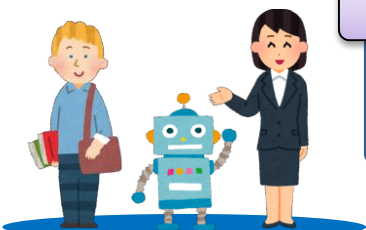
【別紙】東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたロボット導入の取組

成田空港では現在、最先端ロボットの活用による業務の自動化・省力化の取組を進めています。空港をフィールドとしたロボットの更なる活躍にご期待ください！



【第5弾】(2020年夏予定)

インタラクティブなインターフェースを持つ案内ロボットの導入

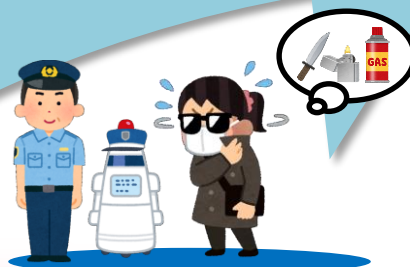


【第4弾】(2020年春予定)

多言語情報発信を行うサイネージロボットの導入

【第3弾】(2019年冬予定)

最新型警備ロボットの追加導入



【第2弾】(2019年11月～)

清掃ロボット「Neo」及び「MB-CL02」の導入

今回導入！



【第1弾】(2019年6月～運用中)

警備ロボット「セコムX2」

ターミナル内の巡回・立哨警備に導入。(計4台体制)



上記第3弾～第5弾の取組は現時点での予定であり、導入時期が変更または中止となる場合があります。